

2023年度 大学院看護学研究科看護学専攻修士課程

授業科目表

必選別 ○印：必修科目、△印：選択科目

科目区分		授業科目の名称	単位数	必選別	配当年次	授業形態			
共通科目	共通科目Ⅰ	看護研究方法論	2	○	1	講義			
		看護理論	2	○	1	講義			
		看護管理論	2	△	1	講義			
		看護継続教育論	2	△	1	講義			
		看護政策論	2	△	1	講義			
	通科科目	看護と法律	1	△	1	講義			
		看護と経済	1	△	1	講義			
		看護と環境	1	△	1	講義			
専門科目	看護管理学分野	看護管理学特論	1	△	1	講義			
		看護管理学領域	看護管理学特講Ⅰ	1	△	1	講義		
			看護管理学特講Ⅱ	2	△	1	講義		
			看護管理学特講Ⅲ	2	△	1	講義		
			看護管理学演習	2	△	1	演習		
			看護管理学特別演習	2	△	1	演習		
		看護管理学特別研究Ⅰ(春)	5	△	2	演習			
		看護管理学特別研究Ⅰ(秋)	5	△	2	演習			
		看護管理学特別研究Ⅱ(春)	5	△	2	演習			
		看護管理学特別研究Ⅱ(秋)	5	△	2	演習			
専門科目	生活支援看護学分野	生活支援看護学特論	1	△	1	講義			
		母性学・小児看護学領域	母性・小児看護学特講Ⅰ	1	△	1	講義		
			母性・小児看護学特講Ⅱ	2	△	1	講義		
			母性・小児看護学特講Ⅲ	2	△	1	講義		
			母性・小児看護学演習	2	△	1	演習		
			母性・小児看護学特別演習	2	△	1	演習		
		高齢者・在宅看護学領域	高齢者・在宅看護学特講Ⅰ	1	△	1	講義		
			高齢者・在宅看護学特講Ⅱ	2	△	1	講義		
			高齢者・在宅看護学特講Ⅲ	2	△	1	講義		
			高齢者・在宅看護学演習	2	△	1	演習		
			高齢者・在宅看護学特別演習	2	△	1	演習		
		生活支援看護学特別研究Ⅰ(春)	5	△	2	演習			
		生活支援看護学特別研究Ⅰ(秋)	5	△	2	演習			
		生活支援看護学特別研究Ⅱ(春)	5	△	2	演習			
		生活支援看護学特別研究Ⅱ(秋)	5	△	2	演習			
		専門科目	療養支援看護学分野	療養支援看護学特論	1	△	1	講義	
				療養支援看護学領域	療養支援看護学特講Ⅰ	1	△	1	講義
					療養支援看護学特講Ⅱ	2	△	1	講義
療養支援看護学特講Ⅲ	2				△	1	講義		
療養支援看護学演習	2				△	1	演習		
療養支援看護学特別演習	2				△	1	演習		
療養支援看護学特別研究Ⅰ(春)	5			△	2	演習			
療養支援看護学特別研究Ⅰ(秋)	5			△	2	演習			
療養支援看護学特別研究Ⅱ(春)	5			△	2	演習			
療養支援看護学特別研究Ⅱ(秋)	5			△	2	演習			

1. 学生は入学の際、専門科目の専門領域4領域のうちから1領域を選択し、当該領域の担当教員のうちから大学院看護学研究科委員会において決定された主指導教員及び副指導教員の指導のもとに所定の研究を行う。
2. 授業科目については、手指導教員の指導により履修するものとする。
3. 授業科目については、開講科目の中から、以下の区分に従って2年以上にわたって30単位以上を履修し、修得しなければならない。
  - (1) 共通科目
    - 共通科目Ⅰ 2科目4単位必修
    - 1科目2単位選択必修
    - (「看護管理論」「看護継続教育論」のうち、いずれか1科目)
  - (2) 専門科目
    - 専攻する領域が配置されている分野の配当科目8科目20単位必修
    - ・<看護管理学><母性・小児看護学><高齢者・在宅看護学><療養支援看護学>の4領域のうち1領域を選択し、同領域の5科目を履修する。
    - ・「特論」、「特別研究Ⅰ」、「特別研究Ⅱ」については、選択した領域が属する分野の科目を履修する。
  - (3) 上記(1)及び(2)以外に4単位以上選択必修
    - ・共通科目Ⅰ・Ⅱまたは、専門科目他分野・他領域の特講Ⅰ～Ⅲから4単位選択。
    - ただし、共通科目Ⅱから必ず1単位以上を履修すること。
4. 各年次で履修できる単位の上限は28単位とする。
5. 年度初めに、その年度の春学期及び秋学期に履修するすべての受講科目を教務課に申請し、所定の期日までに履修登録を完了しなければならない。
6. 年度初めに登録した秋学期履修科目を変更する場合は、変更理由書に主指導教員の確認印を得て、所定の期日までに履修登録変更届を提出しなければならない。